

詳細設計業務における 条件明示チェックシートの 作成率が低い状況

— 手戻り発生、品質の低下を懸念 —

条件明示チェックシート
の入札公告時の提示や
初回打合せ時における
確認徹底により作成率
の向上を要望します

■条件明示チェックシートの運用実態と要望

実態

特記仕様書への記載、条件明示チェックシートの作成率ともに低く、適切な運用がされていない状況

要望

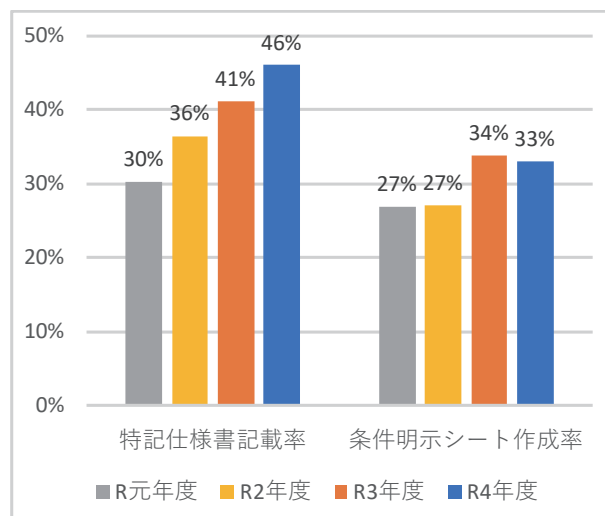
条件明示チェックシートの適切・効果的な活用のため、下記のような運用を要望します

1. 提示率の向上

- 入札公示時に条件明示チェックシートを参考資料として添付
- 初回打合せ時での受発注者での確認徹底（確定条件と未確定条件の確認）

2. 実行可能な運用の一部改善案

- 未確定条件を業務執行中に明確にして、確認することに活用
- 業務終了時の未確定条件については、施工業者等への申し送り事項として活用



* 建コン協会員調査結果による
対象業務：各年度に完了した国土交通省 詳細設計業務
業務数：R1/208、R2/181、R3/248、R4/223

■条件明示チェックシートを活用しないと…

貸与資料を整理して
発注者へ確認する
作業が増えた

条件設定や協議実施
が遅れ工期が遅延した

貸与資料や条件設定に
漏れがあり作業手戻り
が生じた

顧客担当者の異動で業務
引継ぎに時間を要した

施工業者への申し送り
事項が不十分で工事
が遅延した

与条件と変動条件の認識に
差があり設計変更が認めら
れなかった

条件明示チェックシートを活用し、設計条件、工程条件を受発注者共通認識のもとで明確化することで効率的な業務遂行と品質向上を図かりましょう！

詳細設計業務における 条件明示チェックシートの 入札公告時の提示や初回打合せ時の 確認徹底により

条件明示チェック
シートの作成率が
低い状況

—手戻り発生、品質の低下を懸念—

作成率の向上を要望します

■実行可能な運用の一部改善案（運用上の重要と考えるポイントと提案）

運用上の重要と考えるポイント

提 案

予備設計(完了)

- ① 予備設計段階での受注者作成
- ② 予備設計段階での発注者確認

- ・業務終了時の未確定条件の申し送り事項と一体となった、報告書への記載
- ・完了検査時の発注者確認

関係機関協議

- ③ 発注者による関係機関協議内容の追加

詳細設計

発注時

- ④ 詳細設計発注段階で明示すべき設計条件の確認
- ⑤ 詳細設計の発注関係図書への条件明示

- ・発注関係図書としての活用（ex. 技術提案閲覧資料）

業務実施時

- ⑥ 業務着手時での「シート」の受注者への提示
- ⑦ 提示された「シート」に基づく「業務スケジュール管理表」作成
- ⑧ 業務途中の適切な段階での不足する条件の明示

- ・「シート」による未確定条件を踏まえた業務計画書の立案（業務計画書と業務スケジュール管理表への反映）
- ・業務実施中の「業務スケジュール管理表」更新による未確定条件の進捗管理（打合せ記録簿への添付）
- ・業務終了時の未確定条件の申し送り事項と一体となった、報告書への記載
- ・施工業者への未確定条件の申し送り

■条件明示チェックシートでの効果

■ 条件明示チェックシートを活用して得られた効果（会員企業アンケート結果から）

条件明示チェックシートを活用し、設計条件、工程条件を受発注者共通認識のもとで明確化することで、効率的な業務遂行と品質向上が図られ、会員企業からも以下のような効果が挙げられている。

- ① 設計条件や課題の把握 54%
- ② エラー防止や品質向上 27%
- ③ 受発注者双方の共通認識形成 5%
- ④ 関係機関協議状況の把握 14%

